



早稲田大学を卒業して、この4月に大手メーカーに就職したばかりの女性(22)は、内定が決まった昨年6月、どん底に突き落とされた。就活を勝ち抜いて希望の会社に決まったものの、「愛媛勤務」という宣告を受けただからだ。

「20代前半の最高の売り時を、結婚とは無縁で過ごさなきゃいけないかと思うと不安で……」

だからこそ精を出したのが、内定者飲み会。一緒に愛媛勤務になった男子もいた。欲望を隠して近づき、彼の基本スペックをチェック。ルックスはインテリイケメン風なので。収入は自分と同じ会社で、世の平均以

上だから。身長は185センチで希望以上。学歴も高く、言うことなし。

話してみると、彼も愛媛で1人は不安だったようで、すぐに急接近した。何度かデートをすると彼から告白された。付き合うまではあまりに簡単だったが、狙うのは「結婚」だ。

彼を選び内定辞退

彼の好みがおしとやか系とわかると、好きだった飲み会も将来のために控え、彼と会うため友達との約束もドタキャンした。話を合わせるため、彼の専門である統計学や量子力学について勉強し、知的さを装った。

だが、あまりに結婚を意識したことがあだになつた。家に遊びに行きたいと言う彼に、散らかつた部屋やスッピンを見られるのが嫌で渋っていたところ、彼がキレた。

「愛が足りない。早稲田はブランド高いからな」

彼つて怒りっぽい性格だったんだ。これを機に「結婚相手」としては考えられなくなつた。となると、切り替えも早い。「将来の結婚につながることに投資するのは損」

彼とは別れ、「1人で愛媛」を選んだ。結婚相手でもない彼に尽くし、時間とお金をつぎ込むのは無駄だ。それくらいなら資格の勉強やエステなど、自分の価値を高めるために投資した方が将来のいい結婚につながる。「仕事と結婚の両方を早く確立して、幸せをダブルで保証したい。両方ないと不安なんです」

あまりにも生き急いで見える20代女子。30代半ばの筆者が「将来にもっと可能性があるのでは……」と言った途端、この4月に広告会社に入社したばかりの女性(24)は反論した。

「私たち世代は就職活動で厳しさを知って、『将来の可能性』なんて信じられないんです」

有名私大の大学院を修了。出版業界で働くのが夢だったが、学部時代から2度就活しても全減だった。他の業界も受けてやつと1社から内定をもらった。だが、その会社から地方勤務を言い渡された。大手金融機関に勤める彼は都内勤務。結婚も考えている彼と離れる方が将来のリスクは大きい。内定を辞退した。再度就活して入ったのが、いま勤める小規模な広告会社だ。彼女が結婚を優先するのは、それが夢への近道だとも考えるからだ。結婚すれば夫の収入で生活が安定するから、自分は派遣などで編集アシスタントをすることもできる。

母がモデルケース

もう一つ夢がある。海外で暮らすことだ。もともと彼は海外志向ではなかったが、海外勤務経験がある商社マンの友人などをせつせと紹介し、彼の志向を変えさせた。いま彼は海外勤務を希望している。手塩にかけて「将来の伴侶」候補を育てたのだから、地方勤務なんてしてい

ないから。憧れは、見た目も内面も余裕がある会社のパートの女性だ。夫は大手外資系会社員。子育てをしながら、家庭優先で働くのがうらやましい。

今の彼が結婚相手として合格なもの、こうサラリと言ったからだ。

「結婚したら家計は夫が支えるものだと思ってる。けど、妻が働きたいなら働いてもいいし、専業主婦になりたいならそれでもかまわない」

現代の独身男子には希少種だからこそ、ここまで戦略を練る。来年1月、彼のマンションが契約更新を迎える。この時が彼が結婚を現実的に考える最大の好機。それまでに「私」というと快適さを味わわんと実感させていく戦略だ。

内定者飲み会で接近

非婚化、晩婚化が進み、結婚適齢期はなくなったと言われて久しい。それなのに、自由を享受するはずの20代女子たちはむしろ結婚に縛られている。その強迫観念は、20代前半をも侵食している。

「よく考えると、お嫁さんになるのが一番の夢だったんです」

あまりにも古風なセリフ。それには「母親」が関係していると言うのは、社会学者の水無田気流さんだ。

「1980年代以降生まれの20代女性の母親は、女性が自由な生き方を選択できるようにになり始めた中で、あえて専業主婦を選んだケースが多い。30代以上女性の母親は、女性の自由が制限されていた中で専業主婦にならざるを得なかった世代なので、娘には自分ができなかった自立を求める。比較すると、20代女性の母はより保守的で、それが娘たちのモデルケースになっている場合が多い」

ITベンチャーに勤める女性

20代の仁義なき 婚活暴走女子 VS. 嫌婚男子

不況しか知らない20代女子は、結婚を渴望している。
高等戦術を駆使し、あの手この手で彼に結婚を意識させる。
果たして男子は彼女の戦略に落ちるのか。

編集部 木村恵子 イラスト 土井ラブ平



結婚に関する情報は聞き漏らさない。この姿勢が、成功をもたらした。友達が電車の中で聞いたという男性の会話。

「オマエ結婚しないのかよ」

「いやあ、彼女の料理がもつと上手なら考えるんだけど」

「そうか！ やっぱ「胃袋婚」は本当なんだ。食品会社で働く女性(20)は、すぐに料理教室に入会を決めた。

5年前から付き合っている1歳上の彼に、1年ほど前、そろそろ結婚したいな、と打ち明けたところ、一蹴された。

「オレは今すぐって気分じゃないから」

ならいつ？ 問いつめても、彼はのらりくらり。時間もお金も全部自由になる独身男子の快適さを手放すつもりはないらしい。彼をキープしたままで、婚活サイトに登録し、合コンを繰

り返した。でも、忙しい中ゼロから関係を築くのは面倒だし、彼はやきもちすらやかなかつた。

だしと無水鍋で攻める

キレイになれば彼も見直してくれるはずと、見た目改造にも着手。加圧トレーニングに通い、凹凸ボディを手に入れるために汗を流した。でも、彼は一向に気づく気配なし。男はどうしたら結婚を意識するのか、考えあぐねていたところ、冒頭のヒントが舞い込んだ。

料理教室では、和食の基本を習う。だしは鱈ぶしや昆布から

取り、ご飯は無水鍋で炊く。きんぴらゴボウ、おみそ汁、だし巻き卵、葉膳カレーと、メニューは健康も考えたものばかり。彼も週末の料理を楽しみにするようになり、ある時など目をつぶって味をかみしめていた。

以前は2人での食事といえば外食ばかり。結婚への近道は、「私と一緒だといかに快適か」を意識させることだと心得た。会話にも細心の注意を払う。

これまで平日夜の電話は、お互いの忙しさ自慢になっていたが、仕事話は封印。ネガティブな話題は避ける、仕事の愚痴は女友達に、と決めた。代わりに、はやりの店や新しくオープンしたレストランの情報を伝え、「私がいかに有用か」をわからせるようにした。

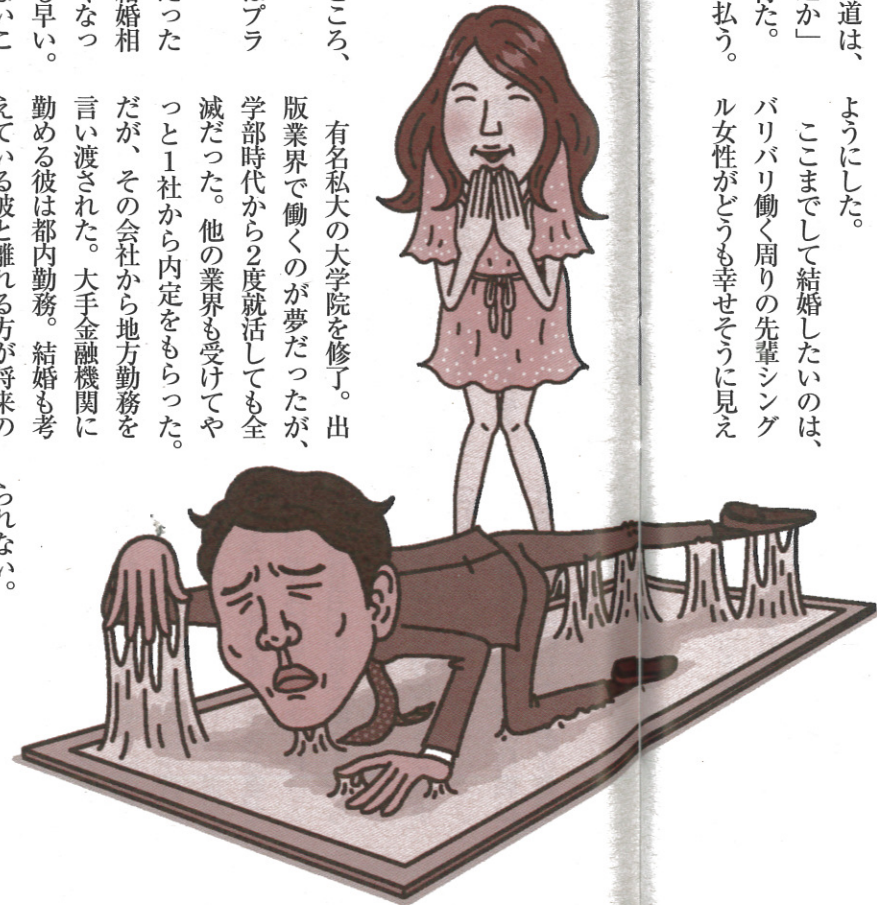
ここまでして結婚したいのは、バリバリ働く周りの先輩シングル女性がどうも幸せそうに見える

「結婚したら家計は夫が支えるものだと思ってる。けど、妻が働きたいなら働いてもいいし、専業主婦になりたいならそれでもかまわない」

現代の独身男子には希少種だからこそ、ここまで戦略を練る。来年1月、彼のマンションが契約更新を迎える。この時が彼が結婚を現実的に考える最大の好機。それまでに「私」というと快適さを味わわんと実感させていく戦略だ。

内定者飲み会で接近

非婚化、晩婚化が進み、結婚適齢期はなくなったと言われて久しい。それなのに、自由を享受するはずの20代女子たちはむしろ結婚に縛られている。その強迫観念は、20代前半をも侵食している。



(27)は秋に結婚予定。目標は専業主婦の母(55)のようになることだ。子どもの頃は体操、スイミング、バイオリン、スケートなど、週5で習い事をしてきた。何に才能があるかわからないからと、母が様々な可能性を与えてくれた。

自分も母になったら、子どもを保育園任せにはしたくないから、仕事は自宅で請け負える程度にしたい。そのために、20代から仕事を任されるベンチャー企業に就職してスキルを身につけてきたつもりだ。

「いいねー」がほしい
前出の水無田さんは言う。「長時間、継続労働でなければ会社の一流のメンバーとしては認めてもらえない。いくら仕事をすすめる女性でも、あいかわらず家事育児の負担は丸ごと背負わされる。結果として、実質的に育児と就労は両立できる環境にない。20代女性が仕事より結婚に走る構造的要因があります」

そんな女性たちが足繁く通う東京・青山の結婚相談所、アルパの小山礼子代表は、最近20代女子の変化を感じる。数年前は年収800万円以上、大手企業勤務など「高スペック」を相手選びの条件にする人が多かった。

でも今は、自分と同等以上の収入であればいい、と条件は下がっているという。「実際にはほとんどいない条件の男性を求めて苦戦するより、早く結婚したい人が多い。そこまでイヤでない相手であればまずは結婚して、その後により好きになっていけばいいというドライな20代は多いです」

最近の20代女子がこだわっているポイント、年収よりもむしろ見た目という傾向もあるという。前出のITベンチャー勤務の女性はこう説明した。「最近ではフェイスブックやブログで、写真付きで私生活を発信する人も多い。他人が見て『いいねー』と思ってもらえる結婚に憧れる女子は多いです」

女子の様々な欲望が「結婚」へと駆り立てる。一方、男子は防戦一方だ。「食品会社勤務の男性(28)は、6年付き合っている同じ年の彼女に結婚を迫られているが、まだ考えられない。『仕事も遊びもやりきった感がないんですよ』」

「危ない呑み方・正しい呑み方」の著者で、精神科医の飯屋暢隆さんはこう話す。コール飲料をお酒だと思っただけの場合にも生じることはないのだからか。

「興奮する、気が大きくなる、判断力や反射神経が鈍る、記憶がなくなるといった『酩酊(酔)』は、アルコールによって脳がマヒし、働きが悪くなることによって生じる症状。つまり

「お酒は好きだけど翌日に響くのであまり飲まないようにしている」という埼玉県の男性(35)は、昨年末の同級生との飲み会で、初めてアルコール0.00%のビールテイスト飲料を口にした。グラスについだときの泡立ちや色、香りはビールそのもの。味やのど越しも本物に近く、意外とイケる。最後までそれだけで過ごしたが、お酒を飲んだときと同じように饒舌になって盛り上がり、酔ったような気分になったという。

「プラセボ効果」は

大手各社が競うように出しているビールテイスト飲料は、「0.00%」の表示通り、アルコール分を一切含まない炭酸飲料だ。であるならば、酔うことなどあり得ないが、人間の体には不思議な一面があり、有効成分を含まない偽薬(プラセボ)を薬として服用してもらうと、症状が改善することがある。こうした「プラセボ効果」が、ノンアル



大手各社のアルコール0.00%のビールテイスト飲料。多様化するライフスタイルに合わせて活用する方法がまだまだあるかもしれない

酔ったと本当にならぬの？

体内にアルコールが入らなければ、酔うことはあり得ません」
「ただし、ビールによく似た味、泡や色などの見た目、雰囲気といったものから、実際にアルコールを飲んだときの記憶が呼び起こされ、酔ったときに近い高揚した気分を感じる可能性があります」といいます

警察の協力でテストも

脳科学者の篠原菊紀さん(諏訪東京理科大学教授)は、テレビ番組の監修で「発泡酒の試飲」と称して大学生に飲んでもらい、変化を観察したことがある。初めは味に違和感を訴える人もいたものの、飲み続けるうちに普通の飲み会のように盛り上がり、顔が赤らむ、声が大きくなる、接触が増える、身体が前後に揺れるといった「酔ったときと同じような症状」が現れた。最後のインタビュアーでは約7割が「酔った」と答えたという。

しかし、ふとした瞬間に素に戻るといふ様子も見られ、途中で実施した反射テストではしっかりと反応し、飲む前と変わらなかった。篠原教授は言う。「偽薬でも効くと思えば脳内でドーパミンという快楽物質が分泌されます。ノンアルコールの場合も雰囲気を楽しめればドーパミンが分泌されて、ほろ酔いしたときのように興奮し、いい気持ちになれるのではないのでしょうか。ただし判断力や反射神経といった能力に影響を及ぼすようなことはなさそうです」

実は開発したメーカー側もこの点は「念には念」を入れたようだ。2009年4月に、他社に先駆けて「キリンフリー」を発売したキリンビールは、発売前に警察庁の科学警察研究所の協力を得て、キリンフリーを飲んだときの影響をドライビングシミュレーターで検証した。「運転する人でも安心して飲める飲料を作ることが目的にしていたため、判断力や反射神経への影響を最も心配したからです。結果は、事前にアルコール0.00%であることを知らせなかった場合でも、運転能力の低下は全く見られませんでした」(マーケティング部の梶原泰美さん)

10年に「オールフリー」を発売したサントリーも、「当社で調査を実施した結果から、飲酒時に見られるような生理的変化はなく、認識や判断力が鈍るようなことはないと考えられています」(広報部)

気分はよくなるけど酒害なし。大ヒットの理由もつなげる？

ライター 熊谷 浩



も増える。楽しいばかりじゃなからこそ踏み切れない。30歳というラインが見えてきた最近では、彼女だけでなく彼女の親からもプレッシャーがかかる。彼は常々彼女に言う。「女性って30歳を過ぎたって魅力的だよ。年齢なんて男からしたら全然気にならない」

もちろん本音だ。口に出して言うことで彼女の焦りを和らげる作戦だ。

「結婚より仕事」後押し

建設会社に転職したばかりの男性(31)は、付き合ってから1年の彼女(23)が結婚をほのめかすたびに話題をそらす。彼女の話は将来結婚したいほど好きだが、今だとは思えない。彼女にはスポーツインストラクターの職を極めてほしいと思う。

収入に興味はないという風だった。男性は言う。「お金目当てが見え隠れしたら絶対に結婚しなかった。妻はそれを見せないほどにはクレバーでした」

高等戦術を要する攻防戦は、結婚をさらに難しくしそうだ。

photo 久保木園子